

平成25年11月6日

質 疑 応 答 書

支出負担行為担当官
日本学士院事務長 上田 浩士 殿

工事件名 日本学士院庁舎屋上目隠しルーバー等改修工事

下記の質問事項にご回答下るようお願い申し上げます。

		NO 1	
NO	図面番号	質 問 事 項	回 答
1	A7	既存目隠しルーバー撤去において、ボルトは既存スラブよりのアンカーボルトをカットした処理については樹脂モルタル埋めでよろしいでしょうか。	アンカーボルト撤去後の凹みは、樹脂モルタルにて平滑に均すものとしてください。 塗膜防水の新設に当たって、周辺部と極端な凹凸を生じないレベルで均してください。 アンカーボルトは、既存アスファルト防水の押えコンクリートに設けているものと考えられます。既存のアスファルト防水層を痛めることがないように注意してください。 アンカーボルトで柱を固定しているのは、b～c通り、Ⅱ～Ⅲ通りの範囲です。 H型鋼および角型鋼はアンカーボルト2箇所、チャンネルのシングル使いは1箇所、チャンネルのダブル使いは2箇所として見込んでください。
		尚、アンカーボルトは、柱1本につき2本計算でよろしいでしょうか。	
		以 上。	

質 問 書

平成 25年 11月 7日

日 本 学 士 院 御 中

工 事 名 日本学士院庁舎屋上目隠しルーバー等改修工事

上記工事に於いて、下記の通り質問いたしますので御回答をお願いいたします。

	質 問 事 項	回 答
1	建具工事 SD-3は符号として表記はありますが、建具表内に寸法の明記がなくSD-2の表示部分と思われるので、それに置き換えて積算しました。(図面番号A-3)	1 図面A-3の改修工事の図中、SD-2はSD-3の誤りでした。SD-2はSD-3と置き換えてください。
2	建具廻り床カーペット補修の件で、既存カーペット撤去再敷き込みとして検討してよろしいでしょうか。	2. 既存と馴染むことを最優先としますので、再利用可能なものは、再利用してください。 図面は、既存のフロアヒンジと沓摺りを撤去した後の床には、じゅうたんはありませんので、その部分は、新設(補修)として見込むことを意図しています。
3	塔屋屋上防水について冷却塔廻りの既存防水層撤去が一部できない所がある場合、既存防水層存置、すり付け合わせ補修の上新規塗膜防水施工でよろしいでしょうか。	3. 貴見の通りで結構です。

質 疑 応 答 書

平成 25 年 11 月 7 日

東京都台東区上野公園7番32号
日本学士院会計課 様

工 事 件 名 : 日本学士院庁舎 屋上目隠しルーバー等改修工事

上記工事に就いて下記の通り御質問致しますので、宜しく御回答お願い致します。

No	質 疑 事 項	図面 (No)	内訳書 (No)	御 回 答
1	内部建具(シャッター・防火戸)の改修工事の際、各フロアの養生等について 床養生方法等をご指示下さい。	現場調査 による		1. 床のじゅうたんに傷をつけない養生を 適宜検討のうえ見込んでください。角の 立つ重量物の運搬があるものと見込んで ください。 2. タイルを支給します。部分張替えの手 間を見込んでください。
2	外部足場架け時の壁つなぎインサートについて タイルに削孔して施工しますが、後処理について補修のみで良いか、タイルの張替 えを行うのかご指示下さい。	現場調査 による		
3	屋上基礎解体等の騒音・火気使用について コンクリート解体はコンプレッサーの使用また鋼材撤去の場合ガス切断等、音・火気 使用について、制限等ご指示下さい。	現場調査 による		
4	アルミ笠木の既存取付を拝見しますとジョイントがシール打ちになっております 笠木を取り外し、再取付後ジョイントをシール仕上げしますが、短期間でシール が切れると思われます、この仕様で宜しいでしょうか、ご指示下さい。	現場調査 による		

(No 1)

